



平成23年度 冬号（第4号）

東京都へき地医療支援機構通信

【編集・発行】

東京都へき地医療支援機構

（東京都福祉保健局医療政策部救急災害医療課医療振興係内）

この通信は、新宿の東京都庁舎内にあります「東京都 福祉保健局 医療政策部 救急災害医療課 医療振興係」という、とてつもなく長い名前の部署で作成されています。

東京都では、国の第9次へき地保健医療計画に基づき、へき地医療支援を行うための「へき地医療支援機構」を、先述の「長い名前の部署」内に設置しました。

以下に、東京都へき地医療支援機構で行っている代表的な事業をご紹介します。

☆ 無料職業紹介事業 ☆

東京都へき地医療支援機構では、島しょ・山間地域の医療機関の医療従事者確保を支援するため、「東京都へき地医療支援機構 無料職業紹介事業所」を設置し、無料職業紹介事業を行っています。

◇開設日◇

平成21年2月18日

◇届出番号◇

13-地-000002

◇対象事業所◇

東京都の以下の町村に所在する医療機関

大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村、檜原村、奥多摩町

◇対象職種◇

医師、歯科医師、薬剤師、（准）看護師、助産師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、
歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士、栄養士

◇業務内容◇

求人及び求職者の登録、相談、紹介等

◇求人登録について◇

島しょ・山間地域で働いてみたい方は、まず無料職業紹介事業所にご連絡ください。

電話でもメールでも受け付けております。ご相談だけでも結構ですので、まずはお気軽にご連絡ください。ご希望に合う求人がある場合は、すぐにご紹介することが可能です。ご希望に合う求人が無い場合には、求職登録を行うことによって、希望に合う求人が出次第、ご案内の連絡を差し上げます。

求職登録を希望される方は、ぜひご連絡ください。お待ちしております！

◇連絡先◇

東京都へき地医療支援機構 無料職業紹介事業所

（東京都 福祉保健局 医療政策部 救急災害医療課 医療振興係 内）

【電話】03（5320）4428（直通）

【メールアドレス】S0000299@section.metro.tokyo.jp

※ 電話対応時間は基本的に平日の9時から17時45分までです。

【注意】

採用後の身分は各町村の職員であり、東京都の職員になるわけではありません。そのため、採用試験の方法や給与等、待遇は全て各町村で決めています。

特に、看護師さん
大募集中です！！

電話に出ると、まず
「医療振興係です！」
と応答します。番号を
間違えたわけではない
ので、びっくりしないで
くださいね！



へき地町村で働く医療従事者の方にインタビューしました



澤田さん、お忙しい中快く取材に応じていただき、ありがとうございました。

看護師 さわだ えいこ 澤田 詠子さん (42歳) としま (利島村国民健康保険診療所)

◇ 島で勤務するようになったきっかけは？

毎年池袋で開催される「アイランダー」という、全国の離島を紹介するイベントで利島を知ったのがきっかけです。利島の方は、自然の厳しさゆえの島生活の不便さをありのまま教えてくださったので、逆に興味が湧きました。

実際に利島を見てみたいと思い、年末年始に家族で観光客として訪れました。そこで民宿に泊まり、島民の方々と接し、利島に魅了されました。

◇ 勤務先を簡単に紹介してください。

利島は竹芝棧橋からジェット船で約2時間35分、大島からだとヘリコプターで10分あれば着きます。

島の西側に集落があり、郵便局や農協・商店には徒歩で行けます。診療所は集落の中心部にあり、棧橋から車で5分程の所にあります。1階建てで、社会福祉協議会（デイサービス）と隣り合わせです。

スタッフは医師1名、看護師2名、事務1名です。

◇ 1日の仕事の流れを教えてください。

8時15分に出勤し、医師とのミーティングの後、9時から午前診療が始まります。昼休みはスタッフ全員が自宅に戻り、昼食を摂ります。

14時から16時まで午後診療を行い、17時には終業しますが、たまに残業をすることもあります。1日の受診者数は15～20人程度です。

◇ 現在の職場に勤務して良かったことは？

患者様と同じ土地で共に生活することにより、生活に寄り添った診療・看護ができることです。

また、現在単身赴任中なのですが、家族と離れて仕事をしなければ、家族の優しさやありがたさがこれほど嬉しく感じなかったと思います。家族の理解があつてこそ、私は利島に勤務できるのだと思います。そして、島の方々が家族を大事に迎え入れてくださることが何よりも嬉しいです。

◇ 現在の職場に勤務して困ったことは？

内地で勤務していた時にはメディカルに依頼していた業務も、オールマイティにこなさなければならない事です。ただ、そこが“やりがい”でもあります。看護師2名で日々奮闘しています！

◇ 休日は何をして過ごしますか？

利島には幾つかのサークル・同好会があり、私は陶芸同好会に入っています。小中学校の後ろに工房があるんですよ。また、島の方々に教わりながら家庭菜園にも挑戦中です。（夏野菜は大収穫でした！）

海釣りも教えてもらいました。実は利島は、釣りマニアにとっては知る人ぞ知る島なんです。棧橋から、イサキ・アジ・カンパチ・イカなどが釣れます。

◇ へき地医療を希望する方へのメッセージ

へき地医療に携わるといことは、それなりのスキルが必要になると思います。「島で経験を積む」というよりは「今までの経験を活かす」という現実を実感しています。

そして何よりも島生活を楽しめればどんな時も頑張れるのではないのでしょうか。

島生活では“自然時間”と“旬を食す”ことを楽しめます。夏は早朝から蝉の大合唱で目が覚め、秋の夜は虫の音と満月の美しさについて夜更かししてしまいます。そして何よりも旬の魚介類（利島産のサザエや伊勢海老は美味です）や野菜を食せます。

皆さん、ぜひ利島に来てみてください！！

観光ついでの診療所見学も歓迎します！



【診療所の皆さん(向かって左から2番目が澤田さん)】

編集・発行

東京都へき地医療支援機構（東京都 福祉保健局 医療政策部 救急災害医療課 医療振興係 内）

【電話】03-5320-4428 【Fax】03-5388-1441 【E-mail】S0000299@section.metro.tokyo.jp

【HPアドレス】http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/joho/shokuin/tousyo_bosyu/index.html

☆☆ご意見・ご感想をお寄せください☆☆